

全国の図書館イベントの 対象年齢 と 分類調査

1. 目的

図書館ではどのようなイベントが多く行われているか知る。
また、都道府県ごとの違いを比較し、それぞれの図書館の特徴を
まとめる。

2. 調査方法

- ① 政令指定都市と地方都市を中心に計24都市を抽出する。
- ② 各都市の発行している図書館案内をもとに、展示会を除く
イベントを分類・集計する。
- ③ 都市ごとに、イベント分類の円グラフを作成する。
- ④ 集めたデータをもとに特徴のある図書館を見て、どの分類のイ
ベントが多いか比較する。

3. 結果

別紙を参照

4. 考察

全体として、「おはなし会」が全イベントの過半数を占める図
書館が多かった。また、幼児から小学生へ向け、子ども向けイ
ベントが多い傾向に見られた。
地域ごとの特徴として、特定のイベントを集中的に行っている
図書館がいくつか見られた。
例えば、静岡県内の図書館(浜松市・静岡市)では「ブックスタ
ード」、仙台市や熊本市では「土曜会」を多く行う傾向があった。
また名古屋や大阪市、仙台市などの大都市の図書館では、実
施するイベントの種類数が多かった。

それとは逆に、那覇市のようなイベントの種類が少ない図書館
も見られた。
そのほか秋田市では、どの図書館でも多く実施されている「お
はなし会」をあまり行わず、相談会や講座などの利用者寄りな
ようなイベントを主に行っていた。

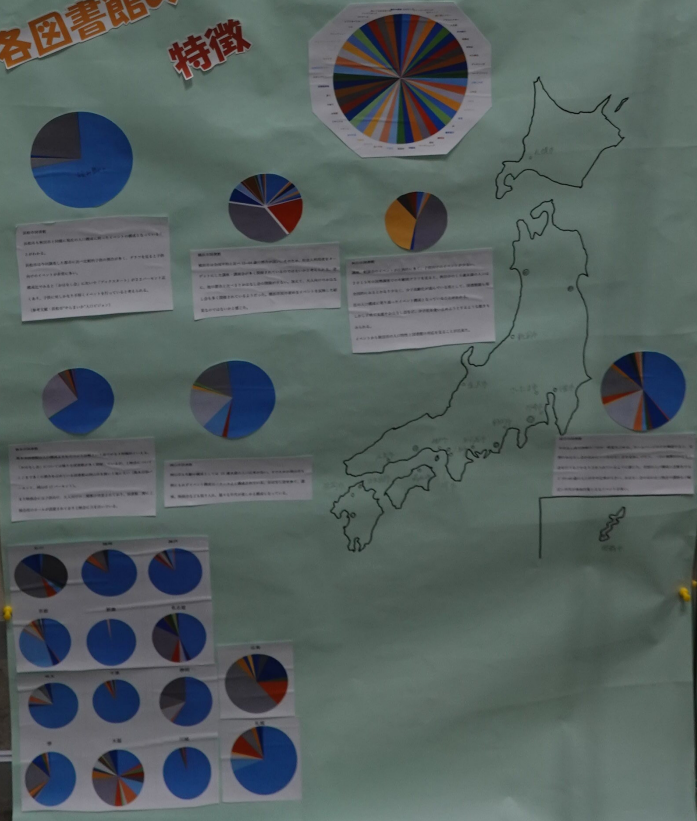
*「おはなし会」には紙芝居、読み聞かせを含む

5. まとめ

調査の結果、地域ごとの特徴が多く見られる地域もある。おは
なし会のような全種類のイベントを集中的に実施している図書館もみ
られた。
また、同じ分類に含まれるイベントでも対象とする年齢層が異なるもの
、同じ図書館とは関係のないような「工作会」や「土曜会」などのイ
ベントも多く実施している図書館もあった。
平成27年度における図書館による年齢層別利用状況、今回の調査を
比較すると、地域によって異なる特徴が出ていたことが分かった。
例えば、秋田市では、ほぼ年齢別人口構成に合わせたイベントを、毎年
実施している。岡山や那覇市では、児童を対象としたイベントが多く、
それとは逆に、岡山や那覇市では、児童を対象としたイベントが多く、

各図書館の 特徴

45種



まとめ

図書館案内に「おはなし会」が最も多く
実施されている。一方でその実施率が低い
都市もあった。
実施頻度が低い都市、実施頻度が低い
イベントの種類が多かったが、実施
頻度の低いイベントの種類は、実施頻
度が高いイベントの種類と比べて少
なかった。
実施頻度の低いイベントの種類は、
実施頻度の高いイベントの種類と
比べて少なかった。
実施頻度の低いイベントの種類は、
実施頻度の高いイベントの種類と
比べて少なかった。